

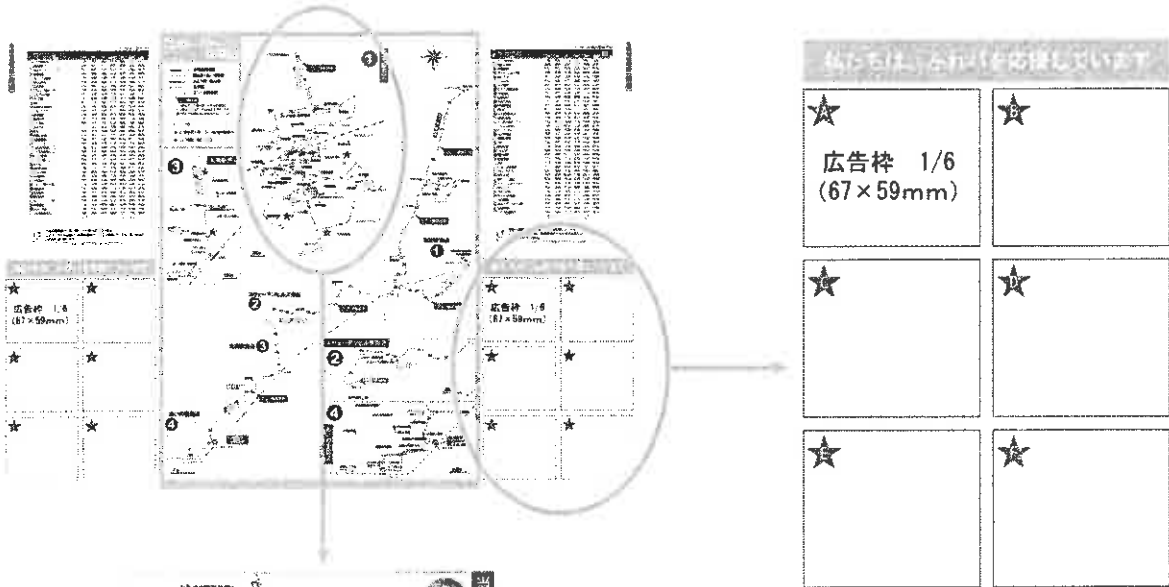
バスマップにおける広告掲載について

- ① 本格運行が始まると現在の活性化再生事業補助金がなくなる。
- ② 現在の収入（運行収入及び事業者負担金）では、運行経費だけでも赤字となる見込み。
- ③ 利用促進事業として実施してきたバスマップ、バス通信、学校MM、バスマつりなどに経費が回らない。
- ④ バス事業としては、最低限バスマップ（時刻表）の作成は続ける必要がある。



今後の対策

- ① 利用促進事業で活用できる補助事業の模索
- ② 広告収入の営業強化
- ③ バスマップへの広告制度導入



取組方法

- ・ 今年度作成経費は補助対象のため、12月1日改正のバスマップ広告については、無償もしくは特別価格で掲載し、次年度以降の広告収入につなげる。
- ・ 広告料金の検討

【参考】

当別町広報誌 5.5cm×8.5cm 8,000円